

未曾有のバロック・ブームの火付け役！

シュトゥットガルト 室内管弦楽団

2025年11月25日(火) 午後7時開演
(6時15分開場)

武蔵野市民文化会館 大ホール

【チケット発売中】料金(全席指定) ①一般 3800
円 ②友の会 3400円 ※未就学児入場不可



©Wolfgang Schmidt

バロック音楽の演奏で世界中に旋風を巻き起こし、現在は古典から現代音楽まで幅広いレパートリーを持つドイツ音楽界の第一線をゆく名門！ベルリン・フィルやウィーン・フィルとも共演してきたバイオリンの名手であり、ノーザン・シンフォニアの音楽監督も務めたトーマス・ツェートマイヤーが率いる、ドイツ屈指のアンサンブルをお楽しみください。

【指揮・バイオリンソロ】トーマス・ツェートマイヤー 【曲目】モーツァルト：交響曲 第29番、バイオリン協奏曲 第4番 ほか

若手ダンサーたちが贈る、“夢と希望”のバレエ

第38回武蔵野シティバレエ「シンデレラ」

(構成・演出・振付：中^{なか}原^{はら}麻^ま里^り)

2025年11月16日(日) 午後3時開演(2時15分開場)

武蔵野市民文化会館 大ホール

【チケット発売中】料金(全席指定) ①S席 4000円／友の会 3600円 ②A席
3000円／友の会 2700円 ③B席 1000円／友の会 900円 ※4歳以上入場可

38回目の今回は、美しい音楽と幻想的な舞台で描かれる“夢と希望”の物語『シンデレラ(全2幕)』を上演！優しい心を忘れずにいたことで逆境を乗り越え、幸せを手に入れるシンデレラの姿は、観る人の心を温かくし、感動を呼びます。プロのバレエ団で活躍するダンサーはもちろん、オーディションで選ばれた将来有望な若手ダンサーの踊りも必見！



【出演】シンデレラ：阿部裕恵(スターダンス・バレエ団)、王子：西一義(新国立劇場バレエ団)

武蔵野市民文化会館

〒180-0006 武蔵野市中町3-9-11

【チケットのお申し込み】

TEL 0422-54-2011

- インターネットからも申し込みできます。
- 電話、窓口予約の場合、アルテ友の会に同時入会可能です(年会費1000円)。インターネット予約では同時入会できません。

【チケット取り扱い窓口】武蔵野市民文化会館／武蔵野公会堂／吉祥寺シアター／武蔵野プレイス

*出演者、内容はやむを得ず変更となることがあります。最新の公演情報については事業団ホームページをご覧ください。
*武蔵野市民文化会館、吉祥寺美術館、吉祥寺シアターなどの文化施設は(公財)武蔵野文化生涯学習事業団が管理、運営しています。



ホームページ



X (旧 Twitter)



公演情報サイト



Instagram

きた だ たく し おも
北田卓史展 想い出の空飛ぶタクシー

2025年9月20日(土)～11月3日(月・祝)

休館日 | 10月29日(水)

主催 | 武蔵野市立吉祥寺美術館〈(公財)武蔵野文化生涯学習事業団〉

協力 | ポプラ社、Gakken SEED、小峰書店、至光社、世界文化ワンダーグループ、チャイルド本社、ひかりのくに、フレーベル館、理論社、EHONS(丸善ジュンク堂書店)

童画家・北田卓史(1921-1992)で想い出すのは、小学校の教科書にも掲載された短編童話『白いぼうし』が収載された「車のいろは空のいろ」シリーズでしょう。「タクシー運転手の松井さん」と不思議な乗客たちの物語は、1968年刊行以降、世代を超えて広く親しまれています。童話作家・あまんきみこ(1931-)の傑作であり、児童書の挿絵画家・北田卓史の名をも決定付けました。また、『チョコレート戦争』(1965年)、『さとののじてんしゃ』(1968年)などの挿絵も手掛けています。

しかし、北田卓史の魅力は、実は児童書にとどまりません。特に、1950年代末～70年代にかけて、月刊保育絵本の仕事を数多く担当。その鮮やかな色彩と卓越したデザイン力、ダイナミックな構図は、従来のイメージを覆すような驚きに満ちています。幼児教育のために保育の現場で求められ、毎月刊行される月刊保育絵本は、発達段階に合わせたテーマが多く、北田も“おはなし”のみならず、“四季の行事”や“生活習慣”、“動物”、“童謡”に至るまで、さまざまな求めに応じて描いています。特に、「東京工業専修学校」を卒業後、機械技術者として働いた経験も生かし、車や潜水艦、飛行機やロケットなど、細部描写にこだわった“乗りもの”は、当時の子どもたちの心をつかみました。

本展では、北田の没後、アトリエに遺され、長年遺族が管理していた原画の中から、約200点を展示。初公開となる、各出版社刊行の月刊保育絵本に掲載された、“幻の原画”を中心に紹介します。北田が描く、日に焼けた肌と黒目だけで魅せる豊かな表情の子どもたちに、私たちはどうしてこんなに惹きつけられるのか…。さあ、北田卓史の世界を心ゆくまでお楽しみください。



ぼくのライオン(2)『にじのすきなヒョウ』(作:山元護久)
*『ワンダーブック』1968年5月号(世界文化社)掲載



口絵『白いぼうし』
『車のいろは空のいろ』(作:あまんきみこ/
ポプラ社 1968年)より



『ぼたんを おしたら』(詩:巽聖歌)
*『こどものせかい』1963年7月号(至光社)掲載

Kichijoji 武蔵野市立吉祥寺美術館

開館時間 午前10時～午後7時30分

休館日 毎月最終水曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始、展示替えおよび特別整理期間

入館料 一般300円/中高生100円
(小学生以下・65歳以上・障害者は無料)

交通案内 JR・京王井の頭線「吉祥寺駅」下車 北口から徒歩3分



〒180-0004
武蔵野市吉祥寺本町1-8-16
FFビル(コピス吉祥寺A館)7階
TEL: 0422-22-0385



ホームページ



X(旧Twitter)



Facebook